

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	多摩大学
設置者名	学校法人田村学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経営情報学部	経営情報学科	夜・通信	0	38	52	90	13	
	事業構想学科	夜・通信			52	90	13	
グローバルスタディーズ学部	グローバルスタディーズ学科	夜・通信		26	68	94	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>経営情報学部 2019年度製本版シラバスに、「実務経験のある教員一覧」のページを設け、公表している。なお、製本版シラバスは、以下URLにて公開している。 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/3-1-8.pdf</p> <p>グローバルスタディーズ学部 今年度は学生向けポータルサイトで公開し、外部には以下URLで公開している。次年度以降はシラバスに記載予定。 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/3-1-9.pdf</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	多摩大学
設置者名	学校法人田村学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html>
 「2019年度情報公開 (4)財務情報 6.事業報告書 I-5 ページ参照」

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立大学学長	2018.2.1～ 2022.1.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	学校法人評議員	2018.2.1～ 2022.1.31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	多摩大学
設置者名	学校法人田村学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>① 授業計画(シラバス)の作成過程 授業計画作成のガイドラインに沿ってFDを実施し、必須項目、作成方法を教員に周知している。提出された原稿は第三者チェックを行い、記載内容に不備が無いことを確認している。</p> <p>② 授業計画(シラバス)の作成・公表時期 授業計画作成にあたっては、教務委員会にて作成のガイドラインを定めた上で、作成依頼前後の10月、11月に「シラバス作成方法に関するFD」「成績評価についてのFD」を実施し、授業担当教員の授業計画への理解を深めている。授業担当教員は授業計画を作成し、教務委員会に提出する。教務委員会内に「シラバスチェック委員」を配置し、12月に予め定めたチェック項目について審査し、適時修正依頼等を実施する。上記のプロセスを経て、2月に初校を作成、3月にWEB上で公開する。なお、製本版は、新入生向けに次年度4月のオリエンテーションにて配布している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページで公表している。(ゲストユーザー(シラバス照会)をクリック) https://next.tama.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp ・1年生には製本版シラバスを配布し上級生および外部に対しては以下のURLでPDFも公開している。 (経営情報学部製本版シラバス PDF) https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/3_3_4.pdf (グローバルスタディーズ学部製本版シラバス PDF) https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/3_3_5.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>① 教員への周知 学修成果の評価方法についてFDを実施し、授業計画(シラバス)作成時に試験、レポート、課題など、どのような方法をどのように重み付けし評価するかを明示するよう教員に周知している。</p> <p>② 公表方法 全ての授業科目の事業計画(シラバス)に、「評価基準」、「評価方法」を記載することとしている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>① 客観的な指標の内容 学生個人の授業科目毎の成績評価を5段階(A+又はP、A、B、C、F)で評価し、それぞれに対して4.0、3.0、2.0、1.0、0のグレードポイントを付与し、この単位当たり平均(GPA、グレード・ポイント・アベレージ)を算出する。</p> <p>② 客観的な指標の実施状況 個々の学生の学期毎および累計GPAを学生向けポータルで本人に公開している。また、全学生のGPA分布を学期毎、学年毎に把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>各学部においてGPA算出方法を以下のURLで公開している。</p> <p>経営情報学部 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/3_3_4.pdf</p> <p>グローバルスタディーズ学部 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/sgshandbook.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>① 卒業の認定に関する方針の具体的な内容 ディプロマポリシーにより、育成する人材像を明確にしたうえで、5つの学修成果目標を定め、学位授与方針としている。</p> <p>② 卒業の認定に関する方針の実施状況 各授業科目が、ディプロマポリシーでうたう5つの学修成果目標のどれを育成するものであるかを製本版シラバスに掲載し、可視化するとともに、卒業要件として必要な科目、単位数等を明示している。</p>	

卒業の認定に関する 方針の公表方法	ディプロマポリシーは以下 URL で公開している。 https://www.tama.ac.jp/guide/policy/diploma.html 卒業認定に関する詳細は以下 URL で公開している 経営情報学部 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/3_3_4.pdf グローバルスタディーズ学部 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/sgshandbook.pdf
----------------------	--

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	多摩大学
設置者名	学校法人田村学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html
財産目録	https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html
事業報告書	https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html
監事による監査報告(書)	https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <https://www.tama.ac.jp/guide/project/jiko.html>

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経営情報学部、グローバルスタディーズ学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tama.ac.jp/guide/idea/mission.html) (概要) 多摩大学は、永年に及ぶ産業教育における経験を基盤とし、国際化・情報化時代に即応して、学生に高度な外国語能力と世界に通用する教養・最新の経営知識及び的確な情報処理能力を修得せしめ、国際的ビジネスの場で活躍できる人材の育成を目指すとともに、わが国の産業社会の健全たる発展に寄与する指導的人材を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.tama.ac.jp/guide/policy/diploma.html) (概要) 学修成果目標を達成し「志」を実現できる力すなわち「学士力」を備え、学則に定める単位数などの卒業要件を満たした者に卒業を認定し、学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.tama.ac.jp/guide/policy/curriculum.html) (概要) 「志」の高い「多摩グローバル」人材を育成するため、ディプロマポリシーで掲げた5つの教育目標に求められる体系的な教育課程を、カリキュラムを通じて実現する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.tama.ac.jp/guide/policy/admission.html) (概要) 地域に密着しつつ、世界に目をひらき、地域社会、グローバル社会に貢献する高い志を持った人物を求める。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/2-2-4.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
経営情報学部	—	31人	9人	5人	—人	—人	45人
グローバルスタディーズ学部	—	10人	3人	6人	1人	—人	20人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
—人				105人			105人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページにて公表 https://www.tama.ac.jp/guide/teacher/list01.html https://www.tama.ac.jp/guide/teacher/list02.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経営情報学部	317人	388人	122.4%	1280人	1520人	118.8%	12人	0人
グローバルスタディーズ学部	147人	172人	117.0%	600人	685人	114.2%	12人	3人
合計	464人	560人	120.7%	1880人	2205人	117.3%	24人	3人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経営情報学部	247人 (100%)	0人 (0%)	214人 (86.6%)	33人 (13.4%)
グローバルスタディーズ学部	84人 (100%)	3人 (3.6%)	64人 (76.2%)	17人 (20.2%)
合計	331人 (100%)	3人 (0.9%)	278人 (84.0%)	50人 (15.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>全授業科目の、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画は、授業計画（シラバス）に記載し、1年生には製本版シラバスで配布し、それ以外の学年の在学者、外部には多摩大学ホームページの「情報公開」のページで公開している。</p> <p>経営情報学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目一覧 <p>https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/3_3_1.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス） <p>https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/3_3_4.pdf</p> <p>グローバルスタディーズ学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目一覧 <p>https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/3_3_2.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス） <p>https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/3_3_5.pdf</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>経営情報学部</p> <p>シラバス（https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/3_3_4.pdf）内の対応項目、「評価基準」、「評価方法」にて公開。また卒業認定にあたっての基準も公開。</p> <p>学修成果の評価方法についてFDを実施し、教員に周知した上で、授業計画作成時に試験、レポート、課題など、どのような方法をどのように重み付けし評価するかを明示することとしている。</p> <p>グローバルスタディーズ学部</p> <p>多摩大学 HP の「情報公開」のページにて公開</p> <p>https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目、授業の方法及び内容 <p>https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/3_3_2.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）：学修の成果に係る評価を公開 <p>https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/3_3_5.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生ハンドブック：卒業又は修了の認定に当たっての基準を公開
--

https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2019/sgshandbook.pdf				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経営情報学部	経営情報学科	124 単位	有・無	単位
	事業構想学科	124 単位	有・無	単位
グローバルスタ ディーズ学部	グローバルスタ ディーズ学科	124 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : https://www.tama.ac.jp/guide/campus/tama.html https://www.tama.ac.jp/guide/campus/shonan.html
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経営情報 学部	経営情報 学科	700,000 円	300,000 円	2019 年度以降入学 330,000 円 2018 年度以前入学 310,000 円	左記に加え入学時に施設拡充費 として 50,000 円徴収。
	事業構想 学科	700,000 円	300,000 円	2019 年度以降入学 330,000 円 2018 年度以前入学 310,000 円	
グローバ ルスタデ ィーズ学 部	グローバ ルスタデ ィーズ学 科	900,000 円	200,000 円	2019 年度以降入学 330,000 円 2018 年度以前入学 310,000 円	左記に加え入学時に施設拡充費 として 50,000 円徴収。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・ オフィスアワー 専任教員はあらかじめ設定された時間帯に研究室で待機している。非常勤講師は設定された時間がないので、授業前後かメールで相談するよう案内している。 ・ 学修サービス窓口 (経営情報学部) 16 名の専門教職員が、学修支援・IT 支援・図書サービスなどワンストップの教育・学修のサポートを行っている。また、海外研修・企業研究・地域研究・キャリア・教養・資格など国内外での 46 に及ぶ AL プログラムを提供している。 ・ 学習支援室 (グローバルスタディーズ学部) 「レポートの書き方」「プレゼンの仕方」といった大学での専門的な学修の前提となるアカデミックスキルを教えるだけでなく、学生生活の相談にも対応している。月曜日～金曜日の午後を開室している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営情報学部 2 年生より 4 年生まで 3 年間ゼミに所属し、研究やプロジェクトを通して学力を身につけると共に学内外の仲間・先生・社会人との交流を通して社会人基礎力を身につけていく。また、就職活動本番となる 3 年生からはキャリア支援課職員がゼミごとに担当を持ち、個別面談、エントリーシート・履歴書添削、求人紹介などを行う。 https://www.tama.ac.jp/career/smis/index.html ・ グローバルスタディーズ学部 1 年次のキャリア形成論でスタートし、2 年次からの個別面談、グループ面談、そして 2・3 年次の夏休み・春休みに実施される国内外インターンシップなど、早い時期から就職活動に直結する実践的プログラムを導入し、将来の進路に対する意識の確立をはかっている。ホテル、航空会社、グローバル企業、国際組織などを中心にインターンシップ先を豊富に準備している。 https://www.tama.ac.jp/career/sgs/index.html
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

両学部とも毎年4月に学生健康診断の実施し学生の健康保持増進に努めている。傷病者に対しての応急対応や様々な悩みに対して、保健室での健康相談、悩み相談を行っている。さらに専門家（臨床心理士や産業カウンセラー）によるカウンセリングを週3日実施している。健康に関する情報（感染症の流行状況、熱中症など）を適宜掲示配信し、注意喚起している。

経営情報学部：<https://www.tama.ac.jp/student/smis/007.html>

グローバルスタディーズ学部：<https://www.tama.ac.jp/student/sgs/007.html>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.tama.ac.jp/research/index.html>